

口くう衛生強調週間

6月4日—6月10日

健康は先ず健歯のう

期間中の目標	四日(木)	五日(金)	六日(土)	七日(日)	八日(月)	九日(火)	十四日(水)
むし歯予防の日 歯の検査を受ける日 歯の日	歯の検査を受ける日 歯の日 むし歯予防の日	歯の日 歯の検査を受ける日 歯の日	歯の日 歯の検査を受ける日 歯の日	歯の検査を受ける日 歯の日 歯の日	歯の日 歯の検査を受ける日 歯の日	歯の日 歯の検査を受ける日 歯の日	歯の検査を受ける日 歯の日 歯の日

こんなわるいくせがつくと、歯列がわるくなる



歯はいいとして生まれる
小児の乳歯は後6、7ヶ月頃
に下顎の切歯(前歯)より生え
始める。約12歳出の間に上下総
10本の歯が生え出だと見習い。
ある永久歯の発育は乳歯より
にあらざる。

清潔な「ミシン歯」の予防

なぜ乳歯を大切にせねばならぬか
乳歯は年齢六ヶ月頃から生じ
て六ヶ月後には左右の歯が並んで
共に動かしてあります。おのれの
乳歯を大切にせねばならぬ
理由は、大体一年半生む乳歯
がいつまで乳歯のままであるた
めに、かくした乳歯の歯質が悪
化すると虫歯の原因となるから
である。虫歯は乳歯のままであ
るから、歯の神経や歯肉が悪
化する。歯が悪いと歯肉も悪
くなる。歯肉が悪いと歯も悪く
なる。

3. 食事の運営が大切なこと

1. 飲食の運営が大切なこと

2. 口の中を清潔に保つこと

この歯の成長は、右が分のもの
は無難なものでなく、右機械的合
成で長い歯が左の歯の歯根によ
り被った有機質は、歯牙溶解の
結果で歯の根に付いたりして、
歯の根が大きくならなければ
なりません。す。

3. ミシン歯を予防するには

1. 歯科医が予防的な治療をす
ぐくわんとつける。

妊娠中の心得
妊娠中の心得

妊娠中の心得
の生れたときから始める原因
がある。乳頭の下部の脛膜症に
ある永久歯の発育は乳歯より
にあらざる。

乳歯のムシ歯

乳歯も将来の継続するもので、大
きな口の乳歯は、胎児の頭の中に
ある永久歯の発育は乳歯より
にあらざる。

乳歯がよくあると、歯科がよく
いわれます。『西子の歯』も、
既に相当歴を示しています。しかし、
乳歯の歯質が悪く、歯肉が常に附着
する。これは歯質そのものが悪く、
また、歯肉が常に附着する。

4. 歯科医が予防的な治療をす
ぐくわんとつける。

5. 食事の運営が大切なこと

やせやんの手で
わるいくせは禁物

やせやんの手で
わるいくせは禁物

戦時から戦後にかけて、わが国の食生活は著しく窮屈を極めたが、県民の歯の病気はがえり少なかつた。しかし、最近われわれの食生活等がほとんど戦前の状態に復帰するにつれ、歯の病気も漸次ないものがあり、従つて口くう衛生知識を高め、病気の予防と治療を普及することとは、県民の健康を増進し、文化の向上を圖る上に極めて大切なことである。こうした見地から、来る六月四日から一週間にわたり全國的に口腔衛生強調運動が展開される。本年は、特に妊娠婦と乳幼児の歯科検診及び保健指導の徹底に重点をおいており、本県でも県教育庁、県歯科醫師会の協力のもとに、多彩な行事を繰り込んでこの運動を強力に実施する。

6月4日—6月10日

この運動が多くの人の手で行われる様子が写されています。

たゞながら、口歯は徐々に改善され、患歯は徐々に減少する。また、県内各地で歯科医師による巡回講習会が開催され、多くの歯科医師が参加しています。

病気の病気は

こんなに私達の健康に影響あるか

たゞながら、口歯は徐々に改善され、患歯は徐々に減少する。また、県内各地で歯科医師による巡回講習会が開催され、多くの歯科医師が参加しています。